

令和 6 年度江戸川区カーボンニュートラル取組 支援業務 ～活動の振り返り～

2025年4月22日

▶ 目次

- 0 はじめに
- 1 削減シミュレーション（7事業者さま合算）
- 2 皆様にご検討いただいた削減行動の一覧
- 3 エネルギー使用料金の削減（経費節減効果）
- 4 最後に

0

はじめに

174.5t

0 はじめに

今ここにいる皆様が真剣に2030年度に削減できると
考えて、積み上げていただいた**CO₂削減量**です。

1

削減シミュレーション（7事業者さま合算）

1 削減シミュレーション結果（7事業者さま合算）

各事業者さまと協議を行い以下3つの方針をベースに排出量削減に繋がる行動の洗い出しを行いました。

1. 運用面の省エネ対策
2. 設備投資面の省エネ対策
3. 低炭素電源、燃料の導入

上記方針を元に排出量削減に繋がる実現可能性のある削減行動について、7事業者さま全体で見込める削減量は次頁の通りです。

1 削減シミュレーション結果（7事業者さま合算）



▲25.4% = 毎年約3.6%の削減（江戸川区目標※：3.4%）

※出典：江戸川区 第6次環境行動計画2023年度～2030年度

2

皆様にご検討いただいた削減行動の一覧

2

皆様にご検討いただいた削減行動の一覧

1. 運用面での削減行動

※重複する項目については最も効果が見込まれる事業者さまの削減量を代表例として記載。

項目	想定削減量(t-CO2)
エコドライブの推進	11.37
空調温度適正化	7.41
金属加工機の待機電力の削減	0.30
コンプレッサーの吐出量調整	0.27
コンプレッサーのエア漏れの改善	0.23
従業員の消灯（昼食時 1 時間）	0.05
室外機のフィン清掃	0.03

2

皆様にご検討いただいた削減行動の一覧

2. 設備投資面の削減行動

※重複する項目については最も効果が見込まれる事業者さまの削減量を代表例として記載。

項目	想定削減量(t-CO2)
ボイラー設備更新	22.65
加熱/焼成設備の放熱防止	22.08
省エネ型冷凍冷蔵機器の導入	14.83
社有車のEV化	12.62
太陽光発電設備の設置	1.65
断熱材の屋根部分への設置	1.40
LED照明の導入	1.15
窓への断熱フィルム施工	1.09
灯油ストーブ⇒新設エアコンへの切り替え	1.04
金属加工機の油圧⇒サーボモータへの切り替え	0.65
省エネVベルトの更新	0.14
室外機の日よけ	0.10

2

皆様にご検討いただいた削減行動の一覧

3. 低炭素電源、燃料の導入

※重複する項目については最も効果が見込まれる事業者さまの削減量を代表例として記載。

項目	想定削減量(t-CO2)
再エネ/CNガス導入	62.50
バイオ燃料の導入	1.10
再生可能エネルギーの導入	1.01

3

エネルギー使用料金の削減（経費節減効果）

3 エネルギー使用料金の削減（経費節減効果）

温室効果ガスの排出量を削減することが取組趣旨ではありますが、同時に「エネルギー使用量の削減」＝「経費節減」も実現することができます。下表は各事業者さまとシミュレーションした一例です。

項目	想定削減量 (t-CO2)	電力削減量 (kWh)	燃料削減量 (KL)	エネルギー使用料金 削減金額（円）
LED照明の導入	1.15	5,521		315,723
太陽光発電設備の設置	1.65	7,745		452,830
断熱材の屋根部分への設置	1.40	6,584		187,189
エコドライブの推進	11.37		4.5	782,180
金属加工機の待機電力の削減	0.30	1,399		39,771
空調温度適正化	1.42	6,649		164,367

※上表には設備投資に関する支出情報は含まれません。また電力単価・燃料単価は各事業者さまごとに異なり、同じエネルギー量を削減した場合でも削減金額が異なります。

4

最後に

4

最後に

174.5t

4

最後に

ガソリンに換算すると

76,199Lを車両で使した排出量。

燃費15.0km/Lの車で**地球28.5周分**に相当。

4 最後に

電力に換算すると

398,392kWhの使用分。

一般家庭の年間消費量にして**100軒分**に相当。

※一般家庭の年間電力消費量：3,950kWhの前提

4 最後に

これは本当に素晴らしいことだと思いますし、
皆様がご一緒に真剣に考えていただいた

削減行動は脱炭素を進めるための基本であり、
自信をもって宣言いただける取り組みです。

4

最後に

脱炭素＝先々の経費節減

と捉えていただき是非、皆様の会社の
原価改善につなげてください。

4

最後に

皆様の取り組みが区内の他の事業者さまに伝わり、

脱炭素の輪がより一層

大きく広がることを心より願っています。

4

最後に

ありがとうございました。

MS & ADインターリスク総研株式会社

〒101-0063

東京都千代田区神田淡路町2-105

ワテラスアネックス

リスクマネジメント第一部 リスクエンジニアリング第四グループ

Phone: 03-5296-8917